

# 先

二年 画数 6  
 筆順 ノル 生 先  
 オン セン  
 クン さき

成り立ち



くさきがめをだし、さきへさきへのびていくようすをあらわした「先(生)」と、ひとのかたちをあらわした「人(ル)」とをくみあわせてつくった字です。

「さきに行くひと」といういみの字です。

「さきに行く」「すすむ」「いみ、また、「さき」といういみにつかわれています。

「先」のついた字いろいろ

兄(あに)、児童(ジドウ)、元気(ゲンキ)など。

使い方

▽先に生まれて、あとから生まれた子どもたちに、いろいろなことをおしえてくれるひとを先生とよびます。  
 ▽ちよつとわすれものをしたので、先にいつてくださいます。すぐに、おいつきます。

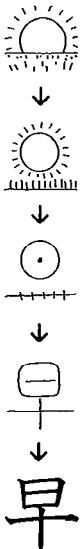
熟語例

- ▽先頭(せんとう) (いちばん先。「先頭をきって、ゴールにとびこむ」などにつかいます。)
- ▽先導(せんどう) (先にたつて導くこと。先に立ってみちあんないをする。)
- ▽先行(せんこう) (先に行くこと。「だいにくみが、先行します」などにつかいます。)
- ▽先発(せんぱつ) (先に出発すること。「先発隊」などにつかいます。)
- ▽先輩(せんぱい) (おなじがっこうや、つとめさきなどで、先にはいったひと。また、としやたちがうえのひと)
- ▽先日(せんじつ) (先だつての日。このあいだ。また、それほどまえてない、まえのある日)
- ▽優先(ゆうせん) (ほかより先にする。こと。「ほかのひとに優先して、あなたにさしあげます」などにつかいます。)

# 早

二年 画数 6  
 筆順 日 旦 早  
 オン ソウ・サツ  
 クン はやい 日まる 日める

成り立ち



お日さまが、ちへいせんからあがつたばかりのようすをあらわした字で、「あさ」「はやい」ことをあらわしたものです。「あさの」「はやい」とき「といういみですが、ひろく「ものごとのじぎの」「はやい」こと」をいうのにつかいます。

どうさの「はやい」のは「速い」とかいてくべつします。

使い方

- ▽あさ早くおきるときもちがよい。
- ▽なにごとにも早めにはじめたほうがまちがいがありません。
- ▽早晩(はやばん) (かなければいけないとおもっていましたが、それでは早速いくことにしましょう。)

熟語例

- ▽早朝(そうちよう) (朝の早いとき。朝まだ早いころ。朝早く)
- ▽早計(そうけい) (早まった計。かく。早まったかんがえ)
- ▽早春(そうしん) (春のはじめのじぎ。春の三か月を、「早春、中春、晩春」の三つにわけます。)
- ▽早晩(そうばん) (「早かれ晩かれ」といういみ。早いか晚いかのちがいがあただけで「そのうちに」はかならずする、というときにつかいます。)
- ▽早速(さつそく) (「早く、速く」といういみで、じきてきにもどうさのうえでも「はやく」ということです。「すぐに」ということです。)

特別な使い方

- ▽早苗(さなえ) 早乙女(さおとめ) 乙女。早はいみがありません。
- ▽早稲田(はやいねだ) (早くみのる稲をうえた田のこと。)